

国絵図ニュース 22 号

第 24 回国絵図研究会「伊能忠敬記念館」例会のお知らせ

例年になく猛暑になりましたが、皆様お元気でお過ごしのことと存じます。ニュースが遅くなり申し訳ございません。今回は、小野寺淳先生のお世話で、伊能忠敬記念館において開催します。2000 年の第 11 回大会で閲覧した国絵図の再調査です。また、小野寺科研のシーボルトコレクションの国絵図についての研究発表も行われます。ふるってご参加下さい。

記

■ 開催日 2008 年 8 月 31 日(日)～9 月 1 日(月)

■ 集合場所 8 月 31 日 13:30 香取市佐原中央公民館 3F 研修室

■ 日程

8 月 31 日(日) 14 時から 17 時 研究発表 : 香取市佐原中央公民館 3F 研修室

(〒287-0003 千葉県香取市佐原イ 211, JR 佐原駅の北側, 徒歩 5 分) TEL0478-55-1151

14:00～14:40 紺野:「伊能図研究の課題」

14:40～15:10 磯永和貴:、「伊能忠敬記念館に所蔵される国絵図の由来について」

15:10～15:40 野積正吉:「佐渡・能登国絵図について」

15:50～16:20 平井松午:「寛文度の阿波・淡路国絵図とシーボルト国絵図」

16:20～16:50 川村博忠:「シーボルト模写「石見国絵図」の検討」

午後 6 時半より懇親会:「茜どき佐原店」 千葉県香取市佐原口 2028-65

9 月 1 日(月) 午前 9 時より伊能忠敬記念館にて終日、撮影・調査

(2 ないし 3 セットで撮影予定)

当日、お越しの方は事前に小野寺までご連絡下さい。onodera@mx.ibaraki.ac.jp

■ 宿泊

ホテルは限られておりますので、各自で早めに予約をお願いします。

佐原北ホテル (千葉県香取市北 2-8-10 TEL: 0478-52-5531 FAX: 0478-52-5548)

1 泊朝食付き シングル 6,825 円 (小野寺名で 15 室予約してありますので、電話での予約の際には小野寺の予約であることを付け加えてください。)

ビジネスホテル朋泉 (TEL: 0478-52-5015)

1 泊朝食付き シングル 5,775 円 (やや交通の便が悪いです)

**同封のはがきに必要事項をご記入の上、8 月 20 日必着
でお知らせ下さい。**

正保長門・周防国絵図を収納した箱について

磯永 和貴

思い返してみると、文書箱にさまざまな文書とともに絵図が入れられていることはよくあるが、表に絵図名を書いてその該当する絵図を収納した箱を見たことは少ないように思う。そのような中で江戸幕府撰国絵図は、幕府や藩当局にとって当時から重要なものであったので、収納する箱が見られることが多いように思われる。今回は、山口県文書館の正保長門・周防国絵図を収納した箱を実見する機会を得たので気づいた点を書きとめておきたい。

山口県文書館でみた箱は、正保国絵図（毛利家文庫 58 絵図 238）の箱であった。正保国絵図の箱の材質は杉と思われ、かぶせフタ形状である。箱の底は二重に板がはられ、上げ底になっている。上げ底の板には、紐を通す穴が一つの棧に2か所ずつあけられているが、紐は紛失して見るできない。それぞれの箱を構成する板は、木釘でつながれている。箱の内側には白色の和紙が前面に貼られているのも特徴のひとつであろう。

蓋はかなり変色しており、黒光りをして年代を感じさせる。箱の表には墨書で「周防 長門絵図」とあり、2ないし3行にわたる文字があるが、ほとんど読み取ることができない。

しかし、その最後に「・・・絵図・・・江木二郎右衛門之調」と記されていることが確認できた。江木二郎右衛門は、萩藩絵図方の役人であり、この箱はまぎれもなく正保国絵図の編纂時に作られた箱である。

前述したように蓋の裏には白色の和紙が貼られ、その上に「入日記」が見られる。重要なので全文を掲げてみたい。

へノ印

入日記

三〇〇

二番

一、防長御両国之絵図貳枚㊦

但、慶安貳八月廿一日井上筑後守殿江同年十一月廿日曾祢源左衛門

殿

江被指上候御控江木次郎右衛門調之㊦

一、萩御居城之絵図壹枚㊦

但、慶安貳八月廿一日公儀被指上候処不足之品有之、如此調取慶安五年六月十九日井上筑後守殿被差上候御控厚母四郎兵衛調之㊦

一、御両国石高帳貳冊㊦

但、慶安貳十一月廿日曾祢源左衛門、同三五月廿日井上筑後守殿江被

指上候御控、江木次郎右衛門調之⑩

一、御両国大道小道灘道船路帳式冊⑩

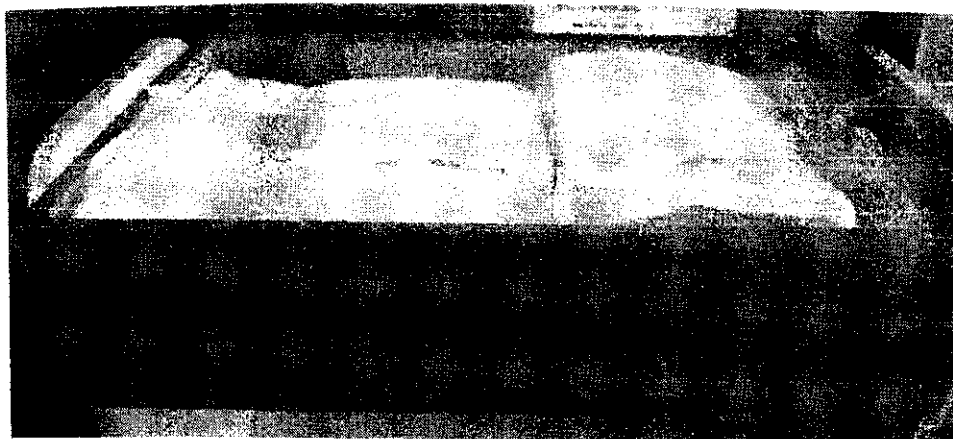
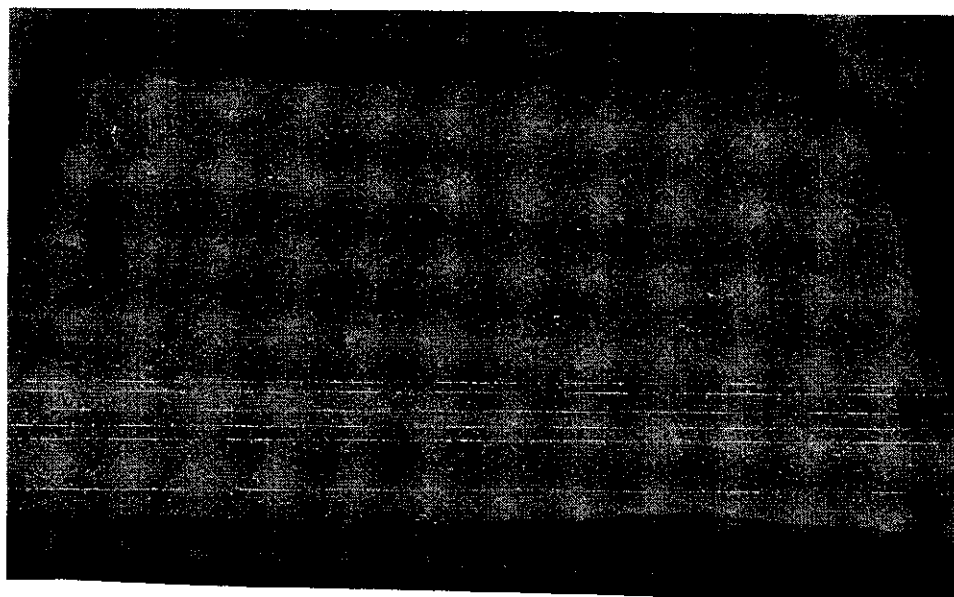
但、慶安式十一月廿日曾祢源左衛門殿同三五月廿日井上筑後守殿へ
被差上候御控右同人調之⑩

以上⑩

文化八未ノ八月

箱には防長両国の国絵図、萩城下町絵図、石高帳、道帳が収納されていたことがわかる。いずれの資料も現存している。ただし、萩城下絵図のみは別置されているという。

このように幕府撰国絵図は重要な地図であったことから、箱が作成された。また、箱の表や裏面には作成に関する情報が記されていることも確認できた。今回の調査によって、箱の表に書かれた文字に萩藩絵図方役人の江木二郎右衛門の名前を読み取れたことによって正保当時の箱であり、文化八年八月に再調査が行われ入日記が付されたことがわかった。当たり前のことのようにだが、国絵図そのものの検討と同時に、箱の確認もおこたることはできないのである。



■論文

歴史学研究の 841、842 に杉本史子先生の科研における報告論文が掲載されました。特集 世界の中の近世絵図(I)(II)です。内容は以下の通りです。

特集(I)

近世地図論序説—身分秩序と主体・行為・モノ—	杉本 史子
絵図—色彩とその原料からみえてくるみもの—	降旗 千賀子
蛍光X線分析による地図資料の彩色材料調査	早川 泰弘
可視反射分光スペクトル法による染料分析—近世	吉田 直人
絵図資料彩色調査への応用—	
肉眼観察からみた絵図—模写制作者の見地から—	村岡 ゆかり
表装技術から絵図を問い直す	高島 晶彦
地域史のなかの絵図も—自治体史の絵図・地図編—	礒永 和貴

特集(II)

近世の都名所 方広寺前と耳塚—洛中洛外図・京絵	ロナルド・トビ
図・名所案内を中心に—	
近世絵図にみる測量の記録とその表現	鳴海 邦匡
近世絵図資料論の課題—国絵図研究会の活動を通し	小野寺 淳
て—	

本年度の会費を徴収します。

国絵図研究会は、皆様の会費で運営しております。ご協力ください。

一般 2,000円 学生・院生 1,000円です

※口座番号は 00120-6-18473 加入者名国絵図研究会です。

※次回の研究会に参加された方は、礒永にお渡し下さい。

■猛暑の夏です。下関では花火大会があったようですが、忙しさを音だけ聞きました。▼次回は佐原の伊能忠敬記念館です。皆さまお元気で夏バテをせず参加ください。

ニュース編集担当・・・礒永和貴 〒751-0807 下関市一の宮学園町 2-1 東亜大学人間科学部内 電話 0832-51-5177 E-mail : isonaga@toua-u.ac.jp
